

## 39 イカルチドリ

(チドリ目)

*Charadrius placidus*

兵庫県ランク:B

繁殖個体群:B 越冬個体群:— 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

北海道では夏鳥または留鳥、本州、四国、九州では留鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では周年見ることができる。河川の中流域から上流域、湖沼、水田などに生息し、昆虫類やイトミズ類などを採食する。繁殖は主に河原の砂礫地を利用するが、造成地でも営巣する。

### 国内分布

北海道、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供:但馬野鳥の会

### 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、(西宮市)、洲本市、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、(赤穂市)、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、(川西市)、小野市、三田市、加西市、(篠山市)、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、多可町、稲美町、(福崎町)、(神河町)、太子町、佐用町、香美町、(新温泉町) ※県内繁殖有



### 主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

### 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

近年、主要な繁殖地である河原の砂礫地の遷移による草原化と人による過度な利用などにより繁殖成功率が低下している。

### 保護上の留意点

河川の砂礫環境の再生および繁殖期における河川敷の砂礫地への人の立ち入りを制限するなどの措置が必要。



写真提供:松重和太